夏季特別寄稿

化粧品ＯＥＭ企業によるコロナ後の市場に向けた商品開発

ピカソ美化学研究所
代表取締役社長　八木　伸夫

2020年3月から始まったコロナ禍の影響は今なお日本経済に大きな影響を及ぼしています。化粧品業界でも2021年度の化粧品の生産出荷金額は30年ぶりに1兆3500億を下回るなど、景気に左右されにくいといわれていた化粧品においても大きなダメージを受けています。しかし2022年4月以降は日本国内においてもコロナ禍は回復の兆しをみせ、化粧品業界においては、コロナ禍においても積極的に商品開発を進めていた会社はさらに加速し、状況を注視していた会社も商品化に向けて動きはじめています。もちろん、中国をはじめ海外からのインバウンド需要がまだまだ回復しておりませんので、従来のような景気に戻るのは2022年末から2023年になるのではないかと考えています。そのためには日本政府には一刻も早い日本入国時における水際対策の緩和を進めていただきたいと願っております。

弊社では「売れる商品づくり」を会社のテーマとして商品開発を進めており、インターネットなどのネット通販、SNSを中心としたBtoCビジネス、店頭販売、ネットワークビジネス、異業種参入など様々なマーケットに対して、販売方法、ターゲット年齢などに合った商品を提案させていただいております。コロナ禍においてもこの考えは変わらず、研究開発部門においては新しい剤型の開発や従来処方の改良・改善を進め、営業部門は積極的なお客様への訪問、面談などを実施し、商品提案を進めてまいりました。

その成果もあり、コロナ禍においても業績は安定し、2022年度はさらなる飛躍の年となると考えております。

具体的な内容としましては1．染毛アイテムなどヘアケア商品の充実、2．スキンケアを中心に新たな剤型と製造機の充実、3．中国市場への進出のサポート体制の充実の3つが上げられます。

1．ヘアケア関連商品の充実

髪にツヤ、ハリを出すトリートメント効果を持ちながら染毛効果のあるヘアカラートリートメントは以前から多くのお客様にご使用いただいておりますが、もっと染毛に特化して素早くなり市場規模を増やすことができておりませんでしたが、ヘアカラータイプのシャンプーを泡立たないクリームシャンプーのベースで開発することで染毛力もあり、適度な洗浄力もあるヒアルロン酸を特異的に増殖させ、シワやハリ改善の効果が期待されることから医薬部外品の添加成分として弊社で前例を取得し、ナイアシンアミドを主剤とした抗シワの商品に配合しています。

また、育毛剤を直接頭皮にピンポイントで使用可能な容器の開発も容器メーカーと一緒に行っております。

粉末原料を顆粒状にすることができる製造機で、従来から市場にあるパウダー洗顔を顆粒状にすることができます。パウダー洗顔は水を含むことで活性を失ってしまうタンパク分解酵素やビタミンCといった成分を使用時まで活性を保ったまま配合できるという利点はありますが、使用時に水となじませにくく泡立てにくいというデメリットがあります。顆粒状にすることで水となじみやすく泡立てやすくすることで、このデメリットを解消した商品を作ることができます。また、顆粒をスティック状の分包に充填する充填機も保有しており、1回使い切りの分包タイプの商品化も可能です。また、顆粒タイプでは洗顔パウダーだけではなく、用事調整で使用する顆粒美容パウダーの開発も進めております。こちらも洗顔同様に水に溶解することで失活してしまうビタミンCを配合したものや水を加えることで炭酸を発生させるものなど顆粒状にすることのメリットを生かした開発品となっております。

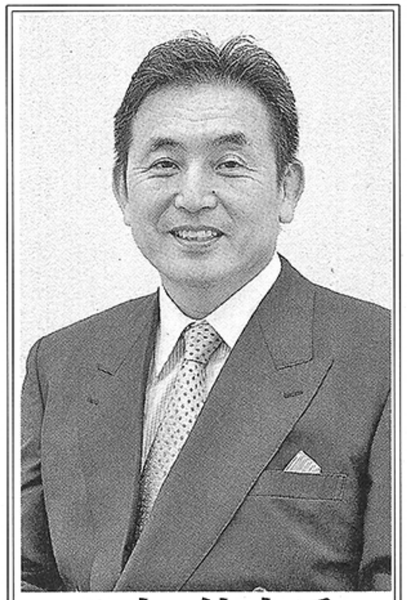
また、従来から生産を行っているクレンジングバームの一貫充填ラインを、市場の需要に合わせ、現在国内の2工場に保有しているものの増設を進めております。

3．中国市場への進出サポート体制の充実

中国への正規輸出は、中国国内の法律の変更により以前にもましてハードルが高くなっております。申請会社は化粧品の処方だけではなく、使用している原料の情報、製造情報など様々な情報の提出を求められております。中国に正規輸出するために必要な情報となりますが、化粧品メーカーやODM・OEMメーカーにとっては、提出した情報を使用することで、ほぼ同じ商品を製造することができるとても重要な情報となり、情報開示に抵抗をじめす会社もあると思います。弊社といたしましては、お客様が中国に商品輸出を行うために必要な情報ということを認識しておりますので、提出させていただく情報の重要性をお客様にも理解いただき、適切な秘密保持契約を締結するなどして対応できる社内体制を構築しております。また、上海に工場を保有する強みとして、備案申請の最新の状況などの情報も素早く入手できる体制も整えております。

このように大きく3つの方向性で進めていくことで、コロナ後の市場に向けた「売れる商品」を引き続きお客様にご提案させていただきます。

（おわり＝原文の



八木　伸夫氏

2．スキンケア商品の剤型と製造機の充実

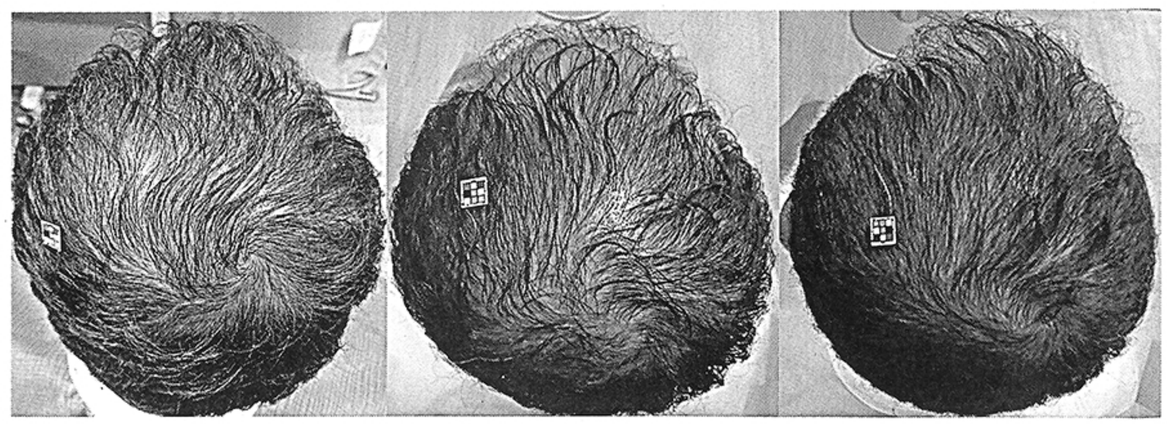
化粧品開発展などの展示会においてもご紹介させていただいておりますが、流動層造粒機の導入を行っております。流動層造粒機は商品化を行っております。また、配合濃度によって育毛効果も確認されていることから、実際に効果の感じられる育毛剤としても開発を進めております。実際に弊社の社内モニター試験では、使用した男女を問わず全員に効果が確認されております。（※育毛テストの画像参照＝2名の使用前後）

また、育毛剤を直接頭皮にピンポイントで使用可能な容器の開発も容器メーカーと一緒に行っております。

タイプのクリームシャンプーとなりました。

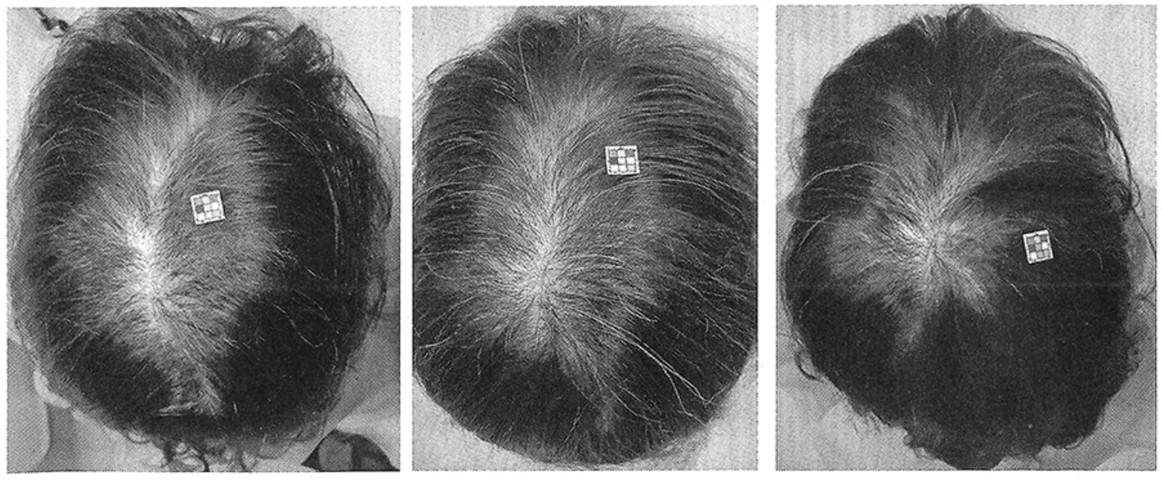
また、育毛剤にも注力しており、NcPA（環状リゾフォスファチジン酸Na）という成分を育毛素材として配合した商品の開発を進めております。NcPAはスキンケア原料として使用することで、高分子の

男性への育毛テスト



使用開始前　使用6ヶ月　使用12ヶ月

女性への育毛テスト



使用開始前　使用6ヶ月　使用12ヶ月